

学校生活充実の二学期に

校長 石村直義

二学期を迎えました。厳しい暑さがまだ続きそうですので、体調・健康に留意しながら、いろいろな場面で自分の賜物を活かすことができる学校生活でありますように。

突然の自然災害に見舞われた地域の方々に想いを至らせています。当たり前のように見える日々も、それは大変幸せなことなのだというお話しを礼拝で共に聴きました。日々感謝して歩みましょう。長い休みの後の登校で、本調子が出ないこともあるかもしれません。始業式で読んだ聖書にあった通り、豊かな神様の恵みに憩い、元気をとりもどすことができます。勇気と希望に目覚めさせてもらえます。周囲に元気のなさそうな人、気になる人がいたら、声をかけてください。

夏休みの間、今は東京の大学で講師をしている卒業生から、ご自身の中・高時代のお話しを聞く機会がありました。授業を受けテストもあり勉強もしたけれど、大切な友人ができ、共に活動し、大会に向けて練習に励んだ。クラスでのたくさんの楽しい時間を過ごした。多くの選択肢の中から、自分に合った進路を見出し、進学することができた。後々、良い思い出として時々そこに立ち返り、長く続く友人と共有して、また元気になれる。

今、学校生活真ただ中の在校生の皆さんの充実はもちろんのこと、活水での経験が一生の宝になる、長い人生を過ごしていくその人の生きる糧(かて)になっていく、これはすばらしいことです。

この二学期、高校三年生にとっては自分の進路実現に向けて、いよいよチャレンジの時です。努力が豊かな実を結ぶよう応援しています。学習の充実と共に、活水祭にはじまり、行事も多く計画されています。学校生活の充実を味わうことができる学期です。学びの成果を得、クラスやクラブでの取り組み、仲間との協力、学年を超えた融和などを通して、「ともに、輝く」機会となり、それが将来につながることを心から願っています。

イブニング説明会

9月30日(水)

10月 7日(水)

14日(水)

21日(水)

28日(水)

11月 4日(水)

11日(水)

18日(水)

18:30~

*詳細はHPを
ご確認ください。

10月行事予定

5月

1(木)

中学特別行事

28月

26(土)

生徒会役員改選公示

24(木)

23(水)

22(火)

21(月)

19(土)

11(金)

10(木)

6(日)

5(土)

4(金)

2(水)

1(火)

後期各種委員会(放課後)

英検一次

秋分の日

国民の日

敬老の日

高三模試(〜20日)

体育大会(県立体育館)

体育大会総練習(県立体育館)

教会出席日(3)

オープンスクール準備

第2回オープンスクール(午後)

オープンスクール準備

大掃除ワックス

面談週間 40分授業(〜7日)

9月行事予定

高1①④活水女子大学・長崎大学
・長崎県立大学体験ツアー



平和祈念集会

8月9日(日)、被爆81年を迎える長崎の朝、平和祈念集会を実施。第1部では、被爆者の城臺美彌子様のご講演を通して、ご自身が6歳の時、爆心地から2.4km離れた立山町で被爆、当時の体験や周囲の状況、そして「長崎を最後の被爆地に」との願いを込め、これから私たちがどのように平和のために行動していくべきかをスライドや映像、音声資料を用いながら丁寧に語ってくださった。第2部では、折鶴献納に続き、中学・高校各学年の生徒代表による平和意見発表。生徒たちは、それぞれの学びや経験をもとに、自分自身の言葉で平和への思いを伝えた。その後、原爆が投下された午前11時2分に全校で黙祷を捧げ、平和学習部による平和宣言、石村校長先生からのメッセージへ。被爆から81年。長崎に生き、学ぶ私たち一人ひとりが、過去の出来事に耳を傾け、今の平和を見つめ、そして未来のために何ができるのかを深く考える一日となった。

(岩永崇史)



平和学習部 充実した夏の活動

平和学習部はこの夏休み期間中、様々な活動をしました。中でも、全校生徒の皆さんに御協力をいただいた高校生一万人署名では、おかげさまで全国から63,814筆の署名が寄せられました。これまでの累計は2,898,027となります。御協力、ありがとうございました。

他の活動については、20年以上続けてきた「ふりそでの少女像」碑前祭、全国的な平和イベントの運営や県外校・平和団体との交流等を行いました。

(草野十四朗)



今月の聖句

「ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すれば、その報いは良い。倒れれば、ひとりがその友を助け起こす。倒れても起こしてくれる友のない人は不幸だ。」
(コヘレトの言葉 4章9〜10節)

2学期は活水祭や体育大会などの行事を通して「協力することの大切さ」や「友達を大切にすること」を学びます。私たちは、例えば30人いれば30通りの意見があることを知っています。そしてその30人が良好な人間関係を長く続けていくことは容易でないことも知っています。そのような私たちに、コヘレトは示されました。苦労を共にし、お互いに励まし合い、良いこともそうでないことも分かち合い支え合うことで必ず「良いもの」が与えられる、と。一人よりも二人、二人よりも三人……。それぞれが互いに力を合わせて一つになれば、一人でいる時よりも強い力を発揮し、絆が生まれるでしょう。神様が与えてくださった仲間と共に歩いていきましょう。

(常泉晶子)

高Ⅱ 活水女子大学研究室訪問

高校Ⅱ年生は、8月26日（水）1～4時間目を活用し、活水女子大学研究室訪問探究を行いました。探究活動の各グループで、大学の先生に活動の途中経過を見てもらい、アドバイスをいただきました。専門的な知識を持った大学の先生からのアドバイスは、生徒たちの視点を広くしてくれました。（古田匠紫）



（生徒の感想）

- ・途中経過のスライド発表をさせてもらって、足りないところを指摘してもらい、これからすべきことが明確になりました。
- ・自分たちだけでは気づけなかった不足点や、考えていなかった内容について考え直すことができました。

高Ⅲミライ インターンシップ

7月16日（木）、今回で3回目となるインターンシップは、これまでと少し趣向を変え、佐世保・波佐見方面の企業へと足を伸ばしました。3年次となり志望先や志望学部を定めている生徒も多く、より目的意識を持って将来像を描きながら臨んでいるようでした。実際の職場での「非日常の経験」は、今後の志望理由書作成など、一歩進んだ受験準備の糧としてしっかりと活かされていきます。（古田雄介）



グローバル夏期課外・自学会

グローバル探究コースでは、夏休み期間中に課外授業と自学会を行いました。自学会では、受験を控えたⅢ年生が黙々と学習する姿に刺激を受け、後輩たちも集中して勉強に取り組みました。また、長崎大学の学生を囲んだ座談会も催され、受験に向けた心構えや具体的な勉強方法について、たくさんの質問に答えていただきました。大学生から直接話を聞くことで、生徒たちは受験への意識を高め、今後の学習へのモチベーションを高めることができました。（菅のの香）



部活動体験会

夏休みの各部指定日に、部活動体験会を行いました。今年も100名を超える参加をいただき、昨年度を上回る参加者数となりました！活水高校の部活動は、各部明確な目標のもと、学業との両立に励んでおります。

また、部活動生も充実した学校生活を送っております。活水にはたくさんの魅力があります。入試説明会(10/24(土))・イブニング説明会（指定日の水曜日）・入試対策講座（12/19(土)）とまだまだ活水を知っていただく機会を設けておりますので、ぜひ足を運んでください！

（草野深音）

【10/24（土）入試説明会】

プログラム	
オープンスクールのイメージですが、入試に特化した内容となっております！	
☆中学生	☆保護者様
1.入試受験体験	1.校長あいさつ
〈国英数で合計30分〉	
2.入試対策講座	2.校納金説明
☆全員	3.進路指導説明
1.学校紹介	☆時間
2.教育活動紹介	・受付
3.募集要項説明	8:50～9:20
※個別相談会（希望者）	・会終了予定
	12:10頃

お題解決同好会 インターアクト年次大会

7月25日(土)、26日(日)に唐津市で行われたインターアクト年次大会に参加しました。「Save the Ocean」のテーマのもと、講演会と各分科会に参加。海洋プラスチック問題について、高校生に出来ることは何かを考える機会となりました。また、他校の生徒から多くの刺激を受け、「色々な考えに触れ視野が広がった」「最初は初対面で緊張したが、交流できて楽しかった」「他校の生徒の活動への熱意を感じた」「自分達ももっと積極的にボランティア活動をしていきたいと思った」と振り返る生徒が多く、大変実りある2日間でした。

（三浦深雪）



Nコン 長崎コンクール 銅賞

7月22日（水）に行われたNコン2026（諫早文化会館文化ホール）で銅賞を頂きました。4人という少ない人数ではありましたが、普段から練習を積み重ね、本番では悔いのない合唱を披露することができました。来年は銀賞、金賞を目指し、部員一同精一杯頑張ります。



（コーラス部樟TwinkleStars 山本雪音）

あきた総文祭 弁論・写真部門出場

写真部門

あきた総文祭に参加して、全国から集まった高校生の作品を見たり、交流会に参加したりすることができ、とても貴重な経験になりました。写真の中に一人ひとりの個性がひかっており、都道府県ごとにその土地ならではの風景や文化が写真に表れていて、撮る人によって着眼点や表現の仕方が違うことが印象に残りました。今回学んだことを活かして、自分らしい写真を撮れるように頑張りたいです。（染さくら）

弁論部門

7月28日（金）から30日（日）にかけて秋田県能代市で行われた全国高等学校総合文化祭弁論部門に出場しました。私は当初から「一人でもいいから伝わる人がいればいい。」という思いで弁論に挑んできました。大会本番では自身としては満足のいく弁論ができたと感じています。また、弁論だけではなく全国から集まった高校生約70名と交流できたことは今後の生活に活かすことのできる貴重な財産だと思います。この経験で得たものを今後の武器に生活していきたいと思っています。（安元萌愛）

大会成績等

〈中高吹奏楽部〉
九州吹奏楽コンクール 金賞 九州代表
（全日本吹奏楽コンクール 出場）

〈個人〉
PIARA国際ピアノコンクールファイナル
デュオD部門 APOLLO賞 高野桃々香
（岩永崇史）